

教育指導課便り

平成22年4月30日発行

第1号

函館市教育委員会学校教育部教育指導課発行

御挨拶

教育指導課長 木村 雅彦

新年度がスタートして、一月が過ぎようとしています。

私ども、教育指導課は、昨年度の岡野課長（現:教職員課長）の後を私、木村が引き継ぎ、

- ・永井 貴之 指導主事（教育課程、学校訪問、幼稚園担当）
- ・山本 良子 指導主事（特別支援教育、読書活動担当）
- ・小濱 誠 指導主事（学力向上、高等学校、小学校外国語活動担当）
- ・田中 登 指導主事（生徒指導担当）

の5名のスタッフでスタートしました。

今年度の教育指導課業務は、過日お配りした「アプローチ」にお示ししていますので、重ねて説明はいたしません。各学校のニーズに応え、先生方のパートナーとして機能する業務を推進してまいります。

特に、「確かな学びを実現する」ため、「学力向上の取組」と「生徒指導の充実」については、最大重点事項として、学校へ足を運ぶなど、労を厭わず、心を込めて対応をさせていただきますので、いつでも御相談ください。

その支援の一環として、この「教育指導課便り」を定期的に発行し、各学校の成果の発信や情報提供に努めてまいります。

一年間、どうぞ、よろしくお願いいたします。

情報提供 児童生徒の学習評価の在り方について（報告）

昨年度から、ワーキンググループで検討されてきた評価の在り方についての報告書が公表されました。

概要を添付ファイルで送信しましたので、御活用ください。

基本的には、目標に準拠した評価と観点別評価は維持され、学校教育法30条に示された学力の要素を踏まえて、指導要録等が改善される見通しです。

各学校におきましては、

○ 目標や評価規準を子どもの姿や活動で具体化し、その状況に応じて指導の改善に生かすこと。

○ 特に、思考力の状況を把握するための学習活動を工夫すること。

について、校内研修等で御検討ください。

なお、報告の全文は、文科省HPや初等教育資料4月号で御覧いただけます。